

# 少子化における運動部活動に関する諸問題への対応

対応策の提案		各学校（各部活動単位）の取組		他校種・競技団体・地域との連携		県・地区中体連の取組		関係機関（自治体・行政等）との連携	
		区分		区分		区分		区分	
視点①	◎少人数における運動部活動の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者の負担軽減</li> <li>活動方針の明確化、練習試合等の迎いの基本方針、活動時間・内容・経費等の申し合わせ</li> <li>用具、練習着、ユニフォーム等の経費負担の軽減</li> <li>休息日の積極的な設定（土日どちらかを休み）及び週末（月あたり）の活動時間の削減</li> <li>新入部員の勧誘</li> <li>体験入学の際の部活動体験</li> <li>工夫ある運動部活動の魅力を紹介（小中連携体験）</li> <li>スポーツ少年団の大会に担当・部員が役員として協力参加（関係づくり・人材発掘）</li> <li>校内連携による部活動の活性化</li> <li>部活動情報交流会（交流会）の開催</li> <li>キャプテン会の開催。目標の共有、合同応援（声だし）、校内外諸活動の実施</li> <li>種目の異なる部活動相互の合同練習・トレーニング</li> <li>陸上部と野球部の合同サーキットトレーニング</li> <li>運動部と文化部との交流活動の促進</li> <li>美術部が運動部への応援ポスターを制作。運動部が吹奏楽部の定期演奏会へゲスト参加</li> <li>複数種目所属の推進（運動・文化・夏季・冬季）</li> <li>異なる競技種目の活動【夏：野球、秋：駅伝、冬：スキー】【野球・陸上、相撲・柔道、相撲・ラグビー】</li> <li>総合運動部活動の推進</li> <li>多視点多指向型の総合運動部（シーズン制を配慮した柔軟な運営）</li> <li>複数種目合同型の総合運動部（ネット型・ゴール型・バドミントン型の部活動 等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校外連携による部活動の活性化</li> <li>スポーツ少年団等との合同練習、交流</li> <li>剣道・バスケ・野球で合同練習を実施</li> <li>小学校の随上記録会に向けた練習に中学生随上部が訪問し、合同練習・指導を実施</li> <li>近隣校との合同練習</li> <li>大会等のない土曜日に合同練習を開催（卓球・ソフトテニス 等）</li> <li>高等学校部活動との交流</li> <li>近隣の高校や強化拠点校との合同練習を実施</li> <li>道場、社会体育等との連携</li> <li>剣道・バレーボール等、競技団体の協力を得て、練習の機会を設けている。</li> <li>総合型スポーツクラブとの交流・連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校外連携による部活動の活性化</li> <li>専門部による合同練習の開催</li> <li>長期休業や授業日外で、地区の全学校を対象とした合同練習会を実施</li> <li>＊管理業者や行政の協力のもと、練習会場を提供（使用料無料）いただいている事例も有り</li> <li>少人数部活動の意義を踏まえた運営</li> <li>情報交流会及び研修会の設定</li> <li>本会の研究報告資料をHPで広く公表し、それぞれのケースに応じた対応への参考資料として活用してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校外連携による部活動の活性化</li> <li>県及び各市町村並びに各体協等が主催するスポーツ事業への参加</li> <li>指導者講習会をはじめ、スポーツ医科学研修やメンタルトレーニング、新たなスポーツ体験活動事業等への参加</li> </ul>	A	A		
	◇部活動関係者に対する運営の在り方に関する意識啓発							◇少人数における部活動の活性化	
視点②	◎複数校合同チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営に関する諸問題</li> <li>大会参加方針、練習計画等を事前に保護者へ説明</li> <li>生徒、保護者の負担に配慮した練習計画（活動は土・日を原則とする）</li> <li>経費負担等の明確化（ユニフォーム、練習試合 等）</li> <li>当該校部活動関係者（指導者・部員・保護者等）の顔合わせ会（交流会）の開催</li> <li>合同運動部活動の方針を踏まえた運営</li> <li>大会参加のための合同チームから合同運動部活動への構築</li> <li>次大会（次年度）を見据えた合同チームの編成</li> <li>生徒の活動意欲につながる合同チームの運営の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先を見据えた編成規程への改訂</li> <li>編成基準における秋田方式の採用</li> <li>正式競技人数を満たしている学校と満たしていない学校との合同チーム編成を承認</li> <li>合同チームが大会に参加しやすい環境整備と参加規程の細則づくり</li> <li>競技特性を考慮した編成基準に関わる専門部細則の早期完成とその周知</li> <li>秋・春季大会の合同チームを総合体育大会まで継続実施（校長間の了承）</li> <li>大会参加状況の周知対応</li> <li>競技プログラムに複数校合同チーム参加規程及び専門部細則を記載し、周囲の理解を得るようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係諸団体への情報提供</li> <li>運営、活動上の諸課題について日本中体連研究部会をはじめ、ブロック中体連および校長会等への情報提供</li> </ul>	A	A			
	◇複数校合同チーム編成規程の見直し						◆生徒・保護者の理解を得ながらの運営		
視点③	◎部活動の統廃合について	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集停止・廃部についての対応</li> <li>部活動の部員募集停止・廃部に至るガイドラインの策定</li> <li>部活動設置数についての検討・見直し</li> <li>部活動担当者の配置方針の検討・見直し</li> <li>小学校関係者（児童・保護者等）への中学校部活動に関する調査アンケートの実施</li> <li>地域の道場・スポーツクラブ等に関する情報提供</li> <li>地域のスポーツ活動に関する情報を生徒に提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集停止・廃部について</li> <li>競技団体やスポーツ少年団関係者との情報交換（部活動加入見込数 等）</li> <li>社会体育化の推進</li> <li>社会体育移行に向けて、学校と地域スポーツ担当との情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統廃合の実態と情報の共有</li> <li>統廃合に関する対応について、実践した当該校（地区）より情報を共有する</li> <li>各校の統廃合に関する方針について、意識調査アンケートを実施</li> <li>生徒・保護者・地域への説明責任対応</li> <li>統廃合に関する対応マニュアルの作成</li> <li>学校に部のない競技大会への引率</li> <li>引率・監督の規程及び細則の見直し（教職員対応から保護者・外部指導者対応へ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長会組織の連携</li> <li>統廃合に関する情報の共有</li> <li>市町村（地区）体育協会との連携</li> <li>地域スポーツ活性化の推進に関わる協議会にて、情報交換及び連携を図る</li> </ul>	A	C		
	◇統廃合の実態と情報の共有							◆学校運動部活動から地域スポーツへの移行の検討	
視点④	◎中体連組織としての対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会運営に係る負担軽減</li> <li>競技団体との共通による大会の開催</li> <li>専門部員・大会役員負担軽減</li> <li>会場確保に伴う重複調整の回避</li> <li>大会経費の削減</li> <li>高体連との積極的な連携</li> <li>組織連携及び情報交換の機会の設定</li> <li>中高合同練習会開催の促進</li> <li>競技団体との積極的な連携</li> <li>大会運営に係る協力体制の構築</li> <li>競技の普及振興や競技力向上、中体連運営方針の周知等の情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員・予算不足による困難な競技運営に対する対応</li> <li>近隣地区中体連との合同開催（全競技・該当競技）</li> <li>自治体への補助金の働きかけや大会運営協力費等の徴収対応</li> <li>当該地区では開催できない種目の対応</li> <li>他地区大会への競技参加（記録・順位付は別）</li> <li>拠点競技会場方式の導入（種目を限定した開催）</li> <li>中体連事業の活性化とその運営等に対する対応</li> <li>地区中体連の統合による組織運営の効率化</li> <li>地区中体連の統合を見据えた支部大会（北・中央・南）開催に向けた原案づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県関係部署等との連携</li> <li>県体育協会との一層の連携</li> <li>競技力向上・スポーツ医科学研修等への協力連携</li> <li>高体連・競技団体との連絡調整及び連携会議等への参加</li> <li>スポーツ振興課との一層の連携</li> <li>学校運動部活動の現状と今後の本県中学校スポーツの活性化についての情報交換</li> </ul>	A	B			
	◇地区中体連の連携による柔軟な大会運営						◆地区中体連組織の統廃合促進		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><b>『対応区分』</b></p> <p>○<b>既に実践実績があり、必要に応じて、より一層の拡充・拡大を图ってきたい対応策・・・A</b></p> <p>○<b>関係者からのニーズが高く、早急な取組が求められている対応策・・・B</b></p> <p>○<b>今後、十分な協議・検討を重ねて、制度や環境を整えていく必要がある対応策・・・C</b></p> </div>							
	□県大会開催方法の検討								
	■内外組織との連携								